

植 調

第 1 卷
第 9 号

昭和 43 年
3 月 発行

財団法人 日本植物調節剤研究協会編

目 次

稲のマルチ栽培の現状と問題点 (農林省農事試験場 畑作部 中沢秋雄)	1
最近の海外関係ニュース	3
除草剤の今後の方向(9) (農林省農事試験場 農学博士 荒井正雄)	4
昭和42年度畑作用除草剤試験成績概要	7
昭和42年度水稻作実用化除草剤使用基準一覧表	13

敵を滅ぼそうとする者は先ず敵を知るにある

財団法人 日本植物調節剤研究協会会長 河 田 党

戦争をする者は、先ず第一に斥候を出して敵状をつぶさに偵察する。何時、何処で、何が、どの位、何をしていたかを知ることが大切である。農業は雑草との戦であるといわれる。すべからく雑草と戦わんとする者は、草を知らなければならない。従来の植物図鑑には成体となった草の図や説明が書いてあり、その生態については僅かにその開花結実時期が説明してある程度であった。幸いに、最近

対象とした記事や著書が見られるようになったことは誠に喜ばしい。しかし、草には幼小な時と生育した後とでは葉の形態なども著しく異なるものが少なくないし、また種子で区別を知りたい場合がしばしばある。これらの点を満足させることに特に考慮を払い、農業における雑草の種類・生態を容易に判ることを目的として、当協会が雑草図鑑の刊行を企劃し既に3年余、ようやく発刊の運びとなった。関係者の参考となれば幸いである。